

2018年11月21日
NHK広報局

放送素材誤送信の処分と再発防止について

本日、以下の事案について、あわせて8人の処分を決定しました。

【事案1】

今月1日、札幌放送局放送部のディレクターが、住民インタビューの音声ファイルを入手できる情報の入ったメールを、宗教団体「アレフ」に誤送信しました。

札幌放送局	放送部	ディレクター	[停職1か月] (11月28日発令)
〃	放送部	チーフ・プロデューサー	[出勤停止5日]
〃	放送部	チーフ・プロデューサー	[出勤停止1日]
〃	放送部	部長	[減給]
〃	局長		[譴責]

【処分理由】

NHKで定めたルールを逸脱して放送素材を誤送信したことにより、取材に協力した住民の方々に多大な不安を抱かせ、NHKの信用を著しく失墜させました。

【事案2】

今月9日から10日にかけて、業務委託契約を結んだ会社のディレクターが、放送素材を入手できる情報の入ったメールを、第三者に誤送信しました。

制作局	チーフ・プロデューサー	[減給]
〃	統括プロデューサー	[譴責]
〃	局長	[譴責]

【処分理由】

再発防止に取り組むなか、番組の担当者として注意喚起を徹底できずに誤送信を招き、番組に協力した方々に多大な迷惑をかけ、NHKの信用を著しく失墜させました。

〔NHKコメント〕

関係者や視聴者のみなさまに改めて深くお詫びいたします。再発防止策を着実に実行し、情報管理の厳格化に努めていきます。

放送素材の誤送信を受けた緊急確認の実施と再発防止策について

【再発防止策】

(1) 再発防止のためのルールの強化と徹底

- ・ファイル共有はNHK指定のシステムに限定し、外部システムの利用には厳格な事前申請を義務付け
- ・機密性の高いファイルへのパスワードの設定を義務付け
- ・機密性の高いファイルの送受信におけるフリーメールの使用禁止

(2) 誤送信を防ぐシステムの改修

- ・NHK指定のファイル共有システムの利用を、関連団体等に拡充
 - ・外部のファイル共有サーバーへの接続制限と警告の表示
 - ・メール送信における宛先入力オートコンプリート（予測変換）機能の停止
 - ・メール送信における時間差送信の設定
- ※今後、添付ファイルの自動暗号化などを実施します。

(3) 放送倫理とITリテラシーの再教育等の徹底

倫理意識の浸透とITリテラシーの向上を目指し、放送用素材を扱う職員・スタッフを対象に、全国各地で研修・セミナー等を実施。

【周知徹底の緊急確認を実施】

NHKの放送制作に関わるすべての組織を対象に、放送素材を扱う際のNHKのルールが周知徹底されているかどうか、確認します。

以上